



四角語句を、線の上に練習するでござんすよ。

英文には、必ず動詞が1つある。つまり、**be 動詞と一般動詞は、一緒に使えない。**

☆☆40 不定詞の副詞的用法

現在の文で、主語が三人称単数 (I, you 以外の1人) のとき、**be 動詞は is** とし、**一般動詞には s または es** をつける。
(例) He likes TV. (例) Does he play tennis? (例) He doesn't like TV.

文末に不定詞 (to+動詞の原形) が来ると、
目的 (～するためです、～したくて) を表すことが多い。

文末の to~ は、**～するためです、～したくて** と、**動作の目的** を表す。

●文とは、「～は、…です。」「～は、…します。」のように、主語で始まり述語で終わります。また、**意味が分かるままとまり**になることも、大きなポイントです。
(文の例) これは、本です。
(文の例) 私は、夕食を作ります。

(例) I went to AEON **to buy a book.** [私はイオンへ行きました。本を買うためです (本を買いたくて).]
[翻訳 → 私は本を買うために (買いたくて)、イオンへ行きました。]
完全な文 + 目的の部分

問題209 文を完成させなさい。「動作の目的」に、色を付けておく。

(1) Aki gets up early **to walk in the park.**

亜紀は早く起きます。[]です。

(2) I just called **to say I love you.** ← 2回目のIは、訳しません。

ぼくは電話したんだ。ただ []て。[]と。

(3) 亜紀は早く起きます。+ **走るためです (走りたくて).** gets run early up to

Aki _____ .

翻訳 → 亜紀は [], 早く起きます。

(4) 私はアメリカへ行きました。+ **彼に会うためです (彼に会いたくて).** went meet to to him America

I _____ .

翻訳 → 私は [] て、アメリカへ行きました。

(5) トムは日本に来ました。+ **お寿司を食べるためです (お寿司を食べたくて).** to to sushi Japan eat came

Tom _____ .

翻訳 → トムは [] 。

just : ただ～
say : 言う・伝える

★2回目の主語は、訳しません。
(2)について: 接続された文において、主語が同じ場合、日本語にしないほうが、自然な文になります。

★翻訳のほうは…、「翻訳」の訳し方は、参考書や教科書対策とします。

数学は、「代入→清書」をくり返して完成を目指す、まさに、アート建築です。

中2で学ぶ「一次関数 $y=ax+b$ 」を例に、代入することの大切さを、一緒に考えてみましょう。

問題: y が5で、 x が3のとき、切片が-1である。

①このときの傾き a を求めなさい。

②また、 y を x の式で表しなさい。

※傾きとは、 a のことで、**変化の割合**ともいいます。

※切片とは、 b のことで、 y 軸上の点のことです。

ステップ1 以下のように、余白に**公式**を書きます。

ステップ2 矢印を書き、数字を置きます。

$$y = ax + b$$

↑ ↑ ↑
5 3 -1

ステップ3 右のように**清書**します。 $5 = a \times 3 - 1$ によって、 a は2と分かります。これが①です。

②で、「 y を x の式で表せ」と言われていますので、

①の2を使って、 $y = 2x - 1$ です。

答え①傾き a は2 ② $y = 2x - 1$

ちなみに a を、「変化の割合」または「傾き」と呼び、「 x の増加量分の y の増加量」で表せます。

$$\text{変化の割合} = \frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}}$$

●グラフを書くコツ: 切片 b の値を、まず、 y 軸上にぐりぐりします。(下の式なら、 y 軸上に2です。)

$$y = 3x + 2 \text{ 切片スタート!}$$

そして a である3を、分数にします。

3 ...次に上へ行く(マイナスの時は下)。
1 ...まず右へ行く。

このように、 y 軸上のぐりぐりをスタート地点として、右へ1、上へ3行きます(上へ3、右へ1でも可)。

以上のように、少しずつ組み上げていきます。

●逃げたいのは、戦っているから。転んだのは、進もうとしたから。

☆☆40 不定詞の副詞的用法

四角語句を、線の上に練習するでござんすよ。



「分からないところ」とは、一か所なのでありませんか？

「間違っているところ」、「分からないところ」って、たいてい「一か所」です。今Aさんが、英作文を書いていて、手が進まない状態だとします。

Aさんが書いている内容は、比較です。この花は、あの花より美しいです。という文を英語で書いているようです。

「あれ、美しいってどう書くんだったっけ…」この一つが書けないことで、全部の手が止まる。

こういうことなのです。そんなときは、できるところを見つけ、それをやり切れればいいのです。分からない単語は()にして後回しにして、後でじっくり考えれば良いのです。

少し分からないと、イコール全部が分からないと考えるてしまう。これは、中学生にも高校生にも、よくあることです。

全部できなくてもいい。できるところをきっちりやってほしいです。そしてそれが手がかりとなり、「分からなかったところ」がピンとくることもあります。

できない1つや2つに負けないでください。できるところをきっちりやり切ってほしいと思います。



出典「女子大生家庭教師濱中アイ」
氏家ト全氏 講談社 より

英文は、「主語+動詞～」でできている。
(例) **The book on the desk is mine.** (机の上にある本は、私のものです。)
これ全部が主語 動詞 ※「動詞の前のすべて」が主語と考える。

問題210 「目的」を表す文を、完成させなさい。

(1) 私は京都へ行きました。彼に会いたくて。
I _____ to Kyoto _____ him.

● went to ウェントトゥ
(～へ行きました。)

(2) 彼は早く起きます。犬を公園に連れて行くためです。
He _____ up early _____ his dog to the park.

● take A to 場所
Aを場所へ、連れて行く

(3) トムは日本に来ました。奈良を訪れたくて。
Tom _____ to Japan _____ Nara.

visit : 訪れる

● came to ケイムトゥ
: ~に来ました

(4) 亜紀は一生懸命に練習しました。いいテニス選手になるためにです。
Aki _____ hard _____ a good tennis player.

practice
プラクティス:
練習する

(5) 亜紀は座りました。本を読みたくて。
Aki _____ a book.

to be ~: ~になるために

● sit down : 座る

(6) 私は電話しました。ただ「ありがとう」と伝えたくて。
I just _____ “Thank you.”
電話した 伝えたくて(2語)

called
コールドゥ:
電話した

● say :
伝える

<暗記表現>

come to see A : Aに会うために来る → **Aに、会いに来る**

(7) トムは、私に会いに 来ました。
Tom _____ .

泣きたいのは、努力してきたから。悔しいのは、勝ちたいから。

「全然分からないや…」と思ったときに、読んでほしいページです。

問題を解いて、×じるしがついたとき、「間違っている原因」は、たいてい「一か所」です。

「先生、食塩水の文章題、全然わかりません。」
こう言われること、本当によくありますが、どこか一つの計算が違うだけで、流れや考え方は、正しいことが多いのです。ちょっと感情的になって、「全然分からない」と言っていることも多いのです。

途中の計算ミスで×なのか、流れを覚えていないために×なのかの見極めが、本当に大切です。

私たち塾講師は、そこをよく分かっていますので、「全然分からない？えっとまずは～して、次は～して」と教えないのは、こういう理由です。

では間違えた原因がどちらなのかを、どう見極めたらいいのでしょうか？

途中式が見えない答えだけのノートを見ても、判断できないこのような原因は、実際に目の前で解いているあなたの姿をじっと見ることでしか、判断できないのです。ここに、塾の存在価値があると思います。

ところであなたがすべきことは、教科書の例題を読んで、「流れを暗記すること」です。



出典「女子大生家庭教師濱中アイ」
氏家ト全氏 講談社 より

☆☆40 不定詞の副詞的用法

英単語の覚え方：ローマ字読みで覚える。

book は「ボオク」、China は「チナ」、write は「ワリテ」のように。

これを2回、紙に書く。そして3回目は、何も見ないで書いてみよう(自分テスト)。

be happy to と **be glad to** : ~して、嬉しいです (嬉しかったです ← 過去)。

be sad to : ~して、悲しいです (悲しかったです ← 過去)。

be surprised to : ~して、驚きます (驚きました ← 過去)。

問題2 | 1 | 文を完成させなさい。

- (1) I was happy to see him. (2) I was sad to hear the news.

私は [

]

私はその知らせを [

]

- (3) We were surprised to eat the cake.

私たちは そのケーキを [

]

問題2 | 2 | 文を完成させなさい。

- (1) 私たちは彼に 会えて、嬉しかったです。

We _____ meet him.

- (2) 私はその知らせを 聞いて、驚きました。

I _____ hear the news.

見る、について。
●注目して見ようと
思つて見るときは、
look : 見る。
at が続くことが多い。
(例) **look at** : ~を見る。
at は、「~を狙つて」。

●自然と見えるときは、
see スイ : ~を見る、
: ~が見える。

聞く、について。

●耳をダンボにして聞くときは、
listen to : ~を聞く。

●自然と聞こえてくるときは、
hear : ~を聞く、が聞こえる。

「~て」とあれば、
be happy to
be glad to など、
このページの勉強かな、
と考えると良いです。

「嬉しかったです。」のように
「~た」とあれば、原則過去で
す。盲点ですので、覚えておい
てください。

be sorry to :
~して残念です。
これも覚えてください。

四角語句を、線の上に
練習してください。



3

挫折したのは、挑戦したから。緊張するのは、頑張ってきたから。

ago. Umami
and is known

- already [ɑ:l'redɪ]
- become [bɪk'ʌm]
< become
- be known to ~
~に知られている

be interested in
~に興味がある



scientist 科学者
ディスカバー
discover 発見する

more than
~以上

hundred 百
アゴウ
ago ~前

京都の料亭の弁当



出典「女子大生家庭教師濱中アイ」
氏家ト全氏 講談社 より

☆☆40 不定詞の副詞的用法

英単語の覚え方：教科書の余白に、そのページの難しい「英単語と意味」を、セットで書きこむのです（予習で）。そのページに出てくる分からない単語は、そのページ内のどこかに、すてにあることで、復習や単語の暗記がすぐできます。左が例です。

❁ ~できなくて と否定するときは、 **not to ~** となる。

四角語句を、線の上に練習してください。



私（塾長）も、32ページの単語テスト、5分後にするよ。と言います。

英語は、not 以下を否定する、という特徴がある言語です。

不安なのは、勝つ可能性があるから。PKをはずしたのには、蹴る勇気があったから。

問題2 | 3 文を完成させなさい。

「特定の日」 ↓ は on : ~に。

(1) I was sorry not to see him.

(2) I was sad not to eat cakes on Christmas Day.

私は彼 [

].

私はクリスマスに [

].

問題2 | 4 全語句を使い、文を完成させなさい。

(1) 私たちはそこへ行けなくて、残念でした。 We (sorry go not were to) there.

We _____ there.

(2) 太郎はサンタさんに会えなくて、悲しそうでした。

Taro (sad not Santa to looked meet).

Taro _____ .

初めてサンタさんに会う機会です。 **meet** となります。

look : ~のように見える、~そうだ、~らしい。
中1で学ぶ、「第二文型」という単元です。

(例) **He looks happy** . (彼は、幸せそうに見えます。)

(例) **My mother looked busy yesterday** .
(私の母は昨日、忙しそうでした。)

● この **look** の次は、形容詞が続きます。

look (~のように見える) は、上の例を見て、ピンと来た人もいるかもしれません。そうです。

be 動詞のような意味があります。

see スイ : 見る, 見える, 会う, 分かる。

see Taro : 太郎に会う。のように、「人」が続くときは、「会う」と訳すと、自然な日本語になることが多いです。

もちろん、「見る」、のほうで、ぴったりくるときもあるので、文脈によって、「会う」「見る」を判断したいです。

● こんにちは！

Nice to see you . : こんにちは！

※ちなみに、初めて会うときは、**meet** を使います。

勉強のやり方は、「教わる」ものではなく、人に「治してもらおう」ものです。

計算問題の途中式を省略することがよくある。公式や語句を覚え切っていないのに、勢いで問題を解くことが多い。5科目のうち、一週間に1度もふれない科目がある。学校の定期テストは取れるが、実力テストでは取れない。

これらの結果、成績が伸び悩んでいるならば、「勉強のやり方が～」と、広く考えるよりも、「ぼくの（私の）勉強でまずいところはどこかな？」と考えるほうが、答えが見つかりやすいです。

学力を高めるには、小1から染みついている、このような問題点を治すことが大切です。「もっと目線を上げて、重心を後ろにして滑りなさい。」超一流の小平菜緒選手にさえ、具体的なアドバイスができる彼女のコーチのように、私もあなたに、たくさんアドバイスをしたいです。



出典「女子大生家庭教師濱中アイ」
氏家ト全氏 講談社 より

40 不定詞の副詞的用法 [解答]

[解答] 不定詞の副詞的用法 40

- 問題209** (1) (亜紀は早く起きます。) 公園で歩くため (です) ※公園を歩くため、も可。
 (2) (ぼくは電話したんだ。ただ) 言いたく (て)。君を愛している (と。) ※伝えたくて、も可。
 (3) gets up early to run 走るために ※走りたくて、も可。
 (4) went to America to meet him 彼に会いたく
 (5) came to Japan to eat sushi お寿司を食べるために、日本にきました ※お寿司を食べたくて、も可。
- 問題210** (1) went / to meet (2) gets / to take (3) came / to visit (4) practiced / to be ※to become も可。
 (5) sat down to read ※座るの過去形 [sat サット] (6) called to say (7) came to see me
- 問題211** (1) 彼に会えて、嬉しかったです (2) 聞いて、悲しかったです (3) 食べて、驚きました
- 問題212** (1) were happy to ※glad も可。 (2) was surprised to
- 問題213** (1) に会えなくて、残念でした (2) ケーキを食べられなくて、悲しかったです
- 問題214** (1) were sorry not to go (2) looked sad not to meet Santa

信じて進めば、いつだって、未来は味方だ。